

## 名古屋大学博物館に寄贈された本荘鈴平医学等資料リスト

A list of Dr. Suzuhei Honjo's medical apparatus and other materials  
donated to the Nagoya University Museum

西川 輝昭 (NISHIKAWA Teruaki)

名古屋大学博物館  
The Nagoya University Museum, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

### Abstract

Mr. Suzuhei Honjo (1862–1937) was born in Gifu Prefecture, and soon after graduating from the Faculty of Medicine, the University of Tokyo in 1885, he set up a practice as a surgeon at the village of Koromo in Aichi Prefecture. Then he moved to the village of Mizunami in Gifu, continuing the career until 1935. His medical apparatus, hand-written notes, documents, books, and old newspapers, 261 in total number, recently donated to the Nagoya University Museum, are listed herein, with brief comments.

### はじめに

本荘鈴平氏 (1862～1937) は岐阜県恵那郡に生まれ、愛知県と岐阜県において長く外科医院を開業された。遺された医療器具、手稿、蔵書、明治時代の古新聞、写真帖など、計261点が、お孫さんである岐阜県土岐市在住の本荘平八氏から名古屋大学博物館に、2003年から2005年にかけて寄贈された。これらの資料が多方面でひろく活用されることを願って、リストを公開する。

### 本荘鈴平氏の略歴

本荘平八氏にいただいた資料をもとに、本荘鈴平氏の略歴を記す。

本荘鈴平氏 (以下、敬称略) は1862 (文久2) 年9月1日に美濃国瑞浪村小田白粉池に生まれ、恵那郡岩村中学校を経て、1885 (同18) 年6月16日に東京大学別課医学科を卒業した。別課医学科とは、東京大学医学部に当時設けられていた実地教育を主眼とした別コースで、漢方医に比べて当時圧倒的に少なかった洋方医 (西洋医学の医師) を急速に増やすためのものであった。医学部医学科の修学年限は予科3年本科5年の計8年であったが、別課のそれは、鈴平が入学した当時、4年間であった (神谷, 1997参照)。鈴平は卒業後まもなく、同年9月1日付けで医業開業免状をうけ、第523号として医籍に登録された。現代風の数え方で、ちょうど満23歳の誕生日のことであった。翌1886年3月、愛知県西加茂郡挙母町 (現、豊田市) で外科医院を開業。1895 (明治28) 年2月、生まれ故郷である岐阜県土岐郡瑞浪村小田和合 (現、瑞浪市和合町) に戻り、1935 (昭和10) 年12月まで同所で外科医院を営む。1937年1月に74歳で逝去。

寄贈品中の『菅江田中先生傳』 (NUM-Tc0012-174) によると、鈴平の夫人は、田中正幅 (まさのり、号は菅江) の二女知佐である。田中正幅は、挙母藩権大参事の後、愛知県西加茂郡長を24年間務めた。正幅の二男で知佐の兄である田中正鐸 (ますず) は、名古屋大学の前身校のひとつである愛知医学学校を経て、1883年に東京大学医学部別課に入学し、1886年に卒業した (おもに安井, 1976による)。つま

り、田中正鐸は、東京大学の卒業年度から数えると、本荘鈴平の1年後輩にあたる。正鐸は大学卒業後、金沢などで医学教育に携わった後、1895年にいまの西尾市和泉町で田中病院を開業した（1898年に西尾病院と改称）。

### 本荘鈴平医学等資料のリスト

品名に付された鍵カッコ内の番号は、名古屋大学博物館の本荘鈴平医学等資料( NUM-Tc0012)の枝番号を示す。寄贈品の全容が不明のままに登録をすすめたため、登録番号は順不同となっていることをお断りしておきたい。医療器具の名称については、榊原欣作・高橋昭両先生のご教示をいただくとともに、東京医科器械同業組合(1963)を参照した。書籍の体裁について、「袋綴」はいわゆる和装本を指し、用紙を袋綴の形式で使用しながら製本は西洋式のものは「洋装袋綴」として区別した。

### 医療器具

(1) 種痘セット [011]: 5.0×11.3×2.4cmの木製ケース入りで、小型メス2本、鼈甲製の小匙1本、および小ガラス瓶1本を収納。本資料は、2003年10月から11月に開催された名古屋大学博物館第2回企画展で展示された(西川, 2003 参照)。

(2) 往診用外科セット [012]: 7.2×12.0×2.7cmの木製ケース入りで、小型メス、ハサミ、ピンセット、縫合糸などのセット。「G. MATSUMOTO TOKYO」というロゴが刻印されている。

(3) 骨鉗子セット [013]: 13.3×19.5×4.0cmの木製ケース入りで、骨鉗子3本を収納。

(4) 尿道注入器 [014]: 6.0×19.3×3.2cmの木製ケース入り。

(5) グリセリン浣腸器 [015]: 4.4×16.3×3.2cmの木製ケース入り。

(6) 開創器 [016]: 7.2×13.8×2.8cmの木製ケース入り。

(7) 瀉血器 [017] (図1): 5.0×6.0×7.0cmの8角形の紙箱入り。日本医科器械資料保存協会(1985, p.7)や青木他(1990, p.83)で紹介されているものと類似している。

(8) 尿比重計 [018]: 長さ20.0cm, 直径4.0cmの紙製円筒入りで、長円筒形のガラス容器と比重計のセット。

(9) 品名不明 [019-020]: 入れ子式の木製長方形の皿4枚のセット2組。最大の皿は長さ16.3cm, 幅14.8cm, 高さ1.6cm。

(10) 膏薬板 [021]: およそ27.2×17.5×3.3cm, 膏薬を調剤するための陶板が木枠にはめ込まれている。

(11) 截丸器 [022-024] (図2): 丸薬を作る器具で3点1組。27.5×13.5×4.5cmの本体 [022], それに組み込まれた7.9×11.0×2.0cmの木製の皿 [024], および、真鍮の波板を備えた木製の角棒 ([023], 27.5×4.0×3.5cm) からなる。

(12) 膿盆 [025]: 24.8×15.3×4.0cmの真鍮製。

(13) ハイステル氏式開口器 [027]: 8.2×13.8×2.8cmの木製ケース入り。

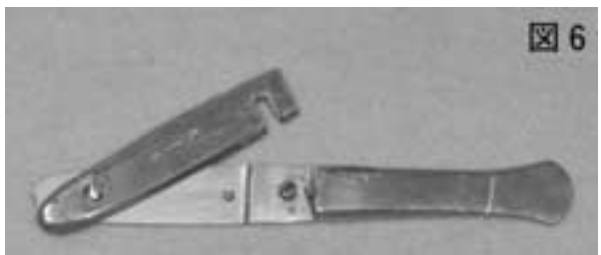
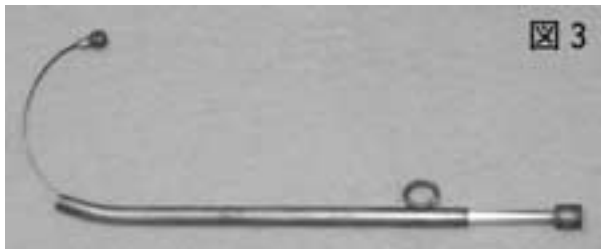
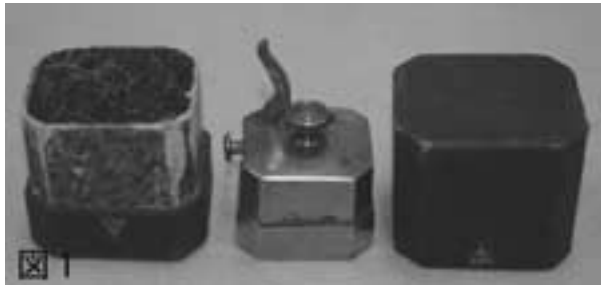
(14) 品名不明 [027]: 14.8×19.5×0.5cmの木製の板で、一隅に円形の小さな切り込みが入っている。

(15) 品名不明 [028]: 11.0×13.6×0.7cmの木製板で取っ手付き。丸薬を丸めるためのものか。

(16) 皮砥 [029]: 長さ34.0cm, 幅4.0cmの皮革製。

(17) 尿道ブジー [030]: 長さ29.8cm。

(18) 薬匙 [031]: 長さ21.0cm。



本荘鈴平医学等資料中の医療器具の一部 図1は瀉血器、図2は截丸器、図7は薬箱、他は用途や名称不明 (大きさなど詳細は本文参照)

- (19) 舌圧子 [032] : 長さ 13.2cm.
- (20) ヘラ [033] : 水牛の角製らしい.
- (21) 尿道カテーテル [034] : 15 本, 最大長 30.0cm.
- (22) 品名不明 [035] (図 3) : 先端部が伸びる構造で, 収納時 13.0cm.
- (23) 刻印器 [036] : 長さ 11.0cm のハサミ型.
- (24) 品名不明 [037] (図 4) : 長さ 16.7cm.
- (25) 品名不明 [038] (図 5) : 長さ 22.3cm の「く」の字型をした木製の棒. 骨折整復梃子か.

(26) 注射器セット [041-044]: 金属ケース入り, 4 個. ケースの大きさはそれぞれ, 11.7×4.0×2.0cm [041], 11.3×4.7×2.0cm [042], 4.3×9.8×2.2cm [043], 9.5×7.0×2.3cm [044]. 最後のケースは, 開けると注射筒や密栓薬液容器が立ち上がる構造になっている.

(27) 消毒綿入れ [045]: 7.5×5.7×1.5cm の金属製だが, ふたが開かない.

(28) 携帯用アルコール入れ [046]: 11.1×5.5×3.5cm の金属製.

(29) 品名不明 [047] (図 6): 長さ 10.0cm. 金属製の細長いへら状で, 前半部が薄い 2 枚の板に分かれている. その 1 枚は遊離しており, 後半部(柄部)から伸びるもう 1 枚の板の先端部にある突起を中心にして回転する. 遊離した板の後端の切れ込みにより, 本体に固定することもできる.

(30) ハサミ [039-040]: 長さ 13.5cm および 16.5cm の 2 丁.

(31) 手術用ハサミ [048-050]: 3 丁. 長さはそれぞれ, 13.3cm [048], 13.8cm [049], 13.0cm [050].

(32) ピンセット [051]: 長さ 16.0cm.

(33) 捲綿子 [052]: 長さ 14.2cm.

(34) 注射針 [053]: 6.5×7.5×1.5cm の桐製ケース入り; 桐箱の上蓋に型押「Maru P NEEDLE 東京マルピー製作所」, 貼付ラベル「東京医科器材価格協定組合, B152-837」.

(35) 油紙 [054]: やや劣化して 1 塊となっている.

(36) エスマルヒ氏式開口器 [055]: 長さ 8.0cm.

(37) 搾乳器 [056]: 長さ 13.0cm.

(38) 吸引器 [057]: およその長さ 12cm. 患部にあてる部分, 誤飲防止栓内蔵の吸い口, および栓からなる.

(39) ガラス製乳棒 [058-059]: 2 本. それぞれの長さ 14.5cm [058] および 6.5cm [059].

(40) ガラス製乳鉢 [060]: 直径 6.0cm.

(41) 時計皿 [061]: 2 枚 1 組, 直径 6.6cm.

(42) 洗浄用ゴム球 (大) [062]: 長さ 16.5cm.

(43) 洗浄用ゴム球 (小) [063]: 長さ約 8cm の 2 個, 吸引部は象牙製.

(44) 共栓試験管 [064]: 4 本あり, 最大長 8.5cm.

(45) 注射器 [065]: 3 本あり, 最大長 8.0cm.

(46) 薬品ラベル [066]: 多数.

(47) 未使用の薬袋 [067]: 大判 2 枚, 「外用薬, 本荘調剤所」の文字が印刷された 3 枚, および「内服薬, 本荘調剤所」の文字が印刷された 3 枚の計 8 枚.

(48) 薬箱 [068] (図 7): 15.5×22.5×17.5cm の木製箱. 天板を開けた部分にガラス薬瓶が 38 本入っていてその約半数は薬物らしきものを含み, 瓶の蓋には薬名を記したラベルが貼付されている. 残りの瓶は未使用らしく, ラベルもない. また, 引き出しが 2 つあり, 上段には薬匙など, 下段にはガラス製の乳鉢と乳棒, 小型ビーカーなどが格納されている. 天板の裏側には, 薬品名などが書かれた薄いボール紙が 1 枚はめこまれている.

#### 医学関係その他の手稿類

(49) 昭和八年処方録 [001]: 1 冊. 本荘家には処方録の類がかつて多量に保管されていた由だが, 現在ではただこの「昭和八年」分が残っているだけである.

(50) 人体の動脈系 [069]: 卷子 1 本. 題名なし.

(51) 人体の神経系 [070]: 卷子 1 本. 題名なし.

- (52) 診断図説 [071]：袋綴，1冊．題箋に当該書名が墨書されている．
- (53) 毒物集説 [072]：袋綴，1冊．表紙に当該書名が墨書されている．
- (54) 極秘死活書 [073]：袋綴，1冊．表紙に「明治貳拾年 極秘死活書 本莊」，裏表紙見返しに「明治貳拾年八月 宇佐藤氏之科スル処之所ヲ得テ模写ス本莊」と墨書されている．
- (55) 病名類叢 [074]：袋綴，1冊．書名は内題による．
- (56) 日本政記論説（1字判読不能）抄卷之一 [075]：袋綴，1冊．書名は内題による．
- (57) 天仁恩波解 [076]：袋綴，1冊．書名は内題による．
- (58) 明治十七年二月（1字あき）日小倉百人一首 [170]：袋綴，1冊．表紙に書名が墨書されている．
- (59) 明治十八年六月 百人一首 [171]：袋綴，1冊．表紙に書名が墨書され，裏表紙ウラに「小田村本莊鈴平」（墨書）および「美濃国土岐郡小田村」（鉛筆書き）と記入されている．

#### 医学関係の刊行物

- (60) 改訂医科全書解剖編図譜，9冊 [002-010]：ハインツマン氏原図，山崎元脩模写，出版人英蘭堂島村利助，発兌書肆文海堂松村九兵衛；巻二 [002] は明治13年3月出版，pp.1-28，巻三 [003] は同年4月出版，pp.29-52，巻四 [004] は同年5月出版，pp.53-88，巻五上下 [005] は同年6月出版，pp.89-128，巻六ノ上 [006] は同年8月出版，pp.129-148，巻六ノ中 [007] は同年8月出版，pp.149-180，巻六ノ下 [008] は同年11月出版，pp.181-204，巻七・八・九 [009] は明治14年8月出版，pp.205-228，巻十三・十四 [010] は同年8月出版，pp.273-296．
- (61) 第5改正日本薬局方 [077]：1932年，内閣印刷局朝陽会発行．
- (62) バイエル医家年鑑1937 [078]：バイエル薬品合名会社学術部編．
- (63) 増補改正日本薬局方備考 第26版完 [182]：飯高芳康・青木純造・小此木信六郎編纂，明治38年9月20日，朝香屋書店発行，（内表紙からp.558まで欠落）571+306+412pp.+1p.

#### 医学以外の刊行物（書籍・雑誌）

- (64) 文部省編纂小学読本巻一，愛知県翻刻 [079]：明治7年5月，官板師範学校編成，名古屋市両替町一丁目愛知県小学教科書製本売捌所（売捌分店名省略），袋綴，38p.（38丁の各丁ごとにページ付けされている），表紙裏に「壺万五千部限定」「愛知県蔵版」の朱印．
- (65) 文部省編纂小学読本巻三，愛知県翻刻 [080]：明治7年5月，官板師範学校編成，名古屋市両替町一丁目愛知県小学教科書製本売捌所（売捌分店名省略），袋綴，40p.（40丁），表紙裏に「壺万五千部限定」「愛知県蔵版」の朱印．
- (66) 文部省編纂小学読本巻一，岐阜県翻刻 [081]：明治6年6月師範学校彫刻，製本所岐阜三浦源助，袋綴，38p.（38丁）．
- (67) 師範学校編纂地理初歩，岐阜県翻刻 [082]：明治7年8月改正，文部省刊行，製本処成美堂三浦源助，袋綴，12p.（12丁，12丁ウラが裏表紙に貼付）．
- (68) 岐阜県地誌略巻之上 [083]：井手今滋関生，太田謹編纂，明治12年3月27日版權免許，同4月出版，岐阜県華陽学校蔵版，発兌人三浦源介，袋綴，序1+27p.（28丁）．
- (69) 岐阜県地誌略巻之下 [084]：井手今滋関生，太田謹編纂，明治12年3月27日版權免許，同4月出版，岐阜県華陽学校蔵版，発兌人三浦源介，袋綴，14p.（14丁），表紙裏「岐阜県華陽学校」の朱印．

- (70) 岐阜県地誌, 美濃国ノ部 [085]: 岩永龍編輯, 明治10年1月15日出版御届, 同2月刻成, 袋綴, 序3丁(ページ付けなし) + 例1p. (1丁) + 本文19p. (19丁ウラは奥付).
- (71) 改正増補反刻物理階梯上 [086]: 片山淳吉編纂, 水溪良孝標註, 明治15年4月改正, 同年10月刊行, 日新館反刻, 袋綴, 序1 + 53p. (54丁).
- (72) 改正増補反刻物理階梯下 [087]: 片山淳吉編纂, 水溪良孝標註, 刊記なし, 袋綴, 50p. (50丁ウラが裏表紙に貼付).
- (73) 改正増補反刻物理階梯下 [088]: 片山淳吉編纂, 水溪良孝標註, 明治17年4月7日再版御届, 同年同月出版, 元版主田中治兵衛, 再反刻人鹽治芳兵衛, 袋綴, 19p. (19丁).
- (74) 訓蒙窮理図解卷之二 [089]: 慶応義塾同社福沢諭吉編纂, 刊記なし, 袋綴, 22p. (22丁).
- (75) 世界国盡一 [090]: 福沢諭吉著 素本世界国盡全三冊の一, 明治5年壬申初冬, 福沢諭吉売(一字判読不能), 刊記なし, 袋綴, 色刷地図2枚 + 37p. (37丁).
- (76) 世界国盡素本卷二(欧羅巴州) [091]: 刊記なし, 袋綴, 37p. (37丁), 書名は版心と内題による.
- (77) 登高自卑三 [092]: 邨松良肅抄輯, 刊記なし, 袋綴, 37丁(37丁ウラで裏表紙に貼付), 内題と版心には, 登高自卑下本と記されている.
- (78) 校刻日本外史源氏二 [093]: 刊記なし, 袋綴, 34丁.
- (79) 校刻日本外史源氏北条氏三四 [094]: 刊記なし, 袋綴, 34 + 34丁.
- (80) 校刻日本外史楠氏新田氏五六 [095]: 刊記なし, 袋綴, 34 + 32丁.
- (81) 校刻日本外史足利氏七八九 [096]: 刊記なし, 袋綴, 36 + 23 + 19丁.
- (82) 校刻日本外史後北条氏武田氏上杉氏十一 [097]: 刊記なし, 袋綴, 26 + 40丁.
- (83) 校刻日本外史毛利氏織田氏十二十三 [098]: 刊記なし, 袋綴, 32 + 25丁.
- (84) 校刻日本外史織田氏豊臣氏十四十五 [099]: 刊記なし, 袋綴, 32 + 38丁.
- (85) 校刻日本外史豊臣氏十六十七 [100]: 刊記なし, 袋綴, 36 + 33丁.
- (86) 校刻日本外史徳川氏十八十九二十 [101]: 刊記なし, 袋綴, 27 + 19 + 32丁.
- (87) 校刻日本外史徳川氏二十一 [102]: 刊記なし, 袋綴, 50丁.
- (88) 校刻日本外史卷二十二 [103]: 安芸頼久太郎著, 川越保岡元吉校, 明治8年10月23日版權免許, 明治11年3月30日4刻御届, 出版人松平直方, 袋綴, 44丁.
- (89) 校刻日本外史豊臣氏十六十七 [104]: 刊記なし, 袋綴, 36 + 33丁.
- (90) 校刻日本外史徳川氏十八十九二十 [105]: 刊記なし, 袋綴, 27 + 19 + 32丁.
- (91) 校刻日本外史徳川氏二十一 [106]: 刊記なし, 袋綴, 50丁.
- (92) 増補日本政記一, 増補日本政記頼氏蔵板 [107]: 刊記なし, 袋綴, 例言2 + 目次5 + 系譜9 + 卷之一33 + 卷之二27丁.
- (93) 増補日本政記二 [108]: 刊記なし, 袋綴, 卷之三24 + 卷之四26丁.
- (94) 増補日本政記三 [109]: 刊記なし, 袋綴, 卷之五36 + 卷之六30丁.
- (95) 増補日本政記四 [110]: 刊記なし, 袋綴, 卷之七51 + 卷之八31丁.
- (96) 増補日本政記五 [111]: 刊記なし, 袋綴, 卷之九43 + 卷之十41丁.
- (97) 増補日本政記六 [112]: 刊記なし, 袋綴, 卷之十一37 + 卷之十二29丁.
- (98) 増補日本政記七 [113]: 刊記なし, 袋綴, 卷之十三22 + 卷之十四40丁.
- (99) 増補日本政記八 [114]: 著者頼久太郎, 増補著者並二出版人頼又次郎, 明治9年4月28日版權免許, 同6月25日出版, 発兌書林弘通(書肆名省略), 袋綴, 卷之十五28 + 卷之十六39 + 刊記2丁.

- (100) 国史纂論一 [115]: 山縣禎著, 長門明倫館藏版, 袋綴, 序 5 + 序 4 + 凡例 2 + 姓名 2 + 卷之一 28 + 卷之二 38 丁.
- (101) 国史纂論五 [116]: 明治 10 年 12 月 19 日御届, 同 11 年 2 月出版, 翻刻出版人鈴木瀧三郎, 発兌人木村文三郎, 袋綴, 卷之九 34 + 卷之十 35 + 跋 2 丁.
- (102) 十八史略字解上 [117]: 間宮喜十郎編輯, 名和謙次校閲, 駿河沼津書林, 擁萬堂藏, 袋綴, 例言 3 + 系図 16 + 卷之一 38 + 卷之二 44 丁.
- (103) 十八史略字解中 [118]: 刊記なし, 袋綴, 卷之三 42 + 卷之四 20 + 卷之五 28 丁.
- (104) 十八史略字解下 [119]: 間宮喜十郎編輯, 明治 9 年 11 月 22 日版權免許, 同 10 年 12 月 20 日出版, 出版人吉成寿三郎 (書店名省略), 袋綴, 卷之六 21 + 卷之七 25 + 物品図 8 + 略図例言目次 1 丁 + 図 11 枚 + 刊記 2 丁.
- (105) 標記増補十八史畧一 [120]: 大夫巖垣龍溪先生標記, 孫音博士東園先生再校増補, 千里必究不許翻刻, 明治 10 年 3 月 8 刻, 皇都出雲寺刊行, 袋綴, 序・題言 12 + 凡例 2 + 目録 1 + 82 丁, 内題は「立齋先生標題解註音釈十八史略」となっている.
- (106) 標記増補十八史畧二 [121]: 刊記なし, 袋綴, 90 丁.
- (107) 標記増補十八史畧三 [122]: 刊記なし, 袋綴, 76 丁.
- (108) 標記増補十八史畧四 [123]: 刊記なし, 袋綴, 56 丁. (「授業料納付票種村定吉」1 枚挿入, 下記 (198) 参照.)
- (109) 標記増補十八史畧五 [124]: 刊記なし, 袋綴, 76 丁.
- (110) 標記増補十八史畧六 [125]: 刊記なし, 袋綴, 72 丁.
- (111) 標記増補十八史畧七 [126]: 明治 8 年 11 月 14 日版權免許, 同 10 年 2 月 27 日再販御届, 同 3 月刻成発兌, 出版人出雲寺文次郎・藤井孫兵衛・川端藤次郎, 袋綴, 99 + 跋 1 丁. (「授業料納付票種村定吉」1 枚挿入, 下記 (198) 参照.)
- (112) 十八史略便蒙上 [127]: 讃岐居稽村山先生輯著, 全三冊, 高松 今古堂藏版, 袋綴, 序 3 + 附言 1 + 32 丁.
- (113) 十八史略便蒙中 [128]: 刊記なし, 袋綴, 35 丁.
- (114) 十八史略便蒙下 [129]: 天保 10 年己亥 (1839 年) 5 月発行, 讃州高松 今古堂藏版, 元明史略便蒙追刻, 製本所書林敦賀屋為七, 袋綴, 29 + 跋 2 丁.
- (115) 支那史略下 [130]: 味岡正義・村澤衡平・栗田智城・恩田則正編纂, 明治 11 年 6 月 26 日版權免許, 岐阜県師範学校藏版, 発兌製本所三浦源助・阪田加造・三府売捌 江島喜兵衛 (以下省略), 袋綴, 60 丁.
- (116) 新撰明治いろは字引大全完 [131]: 篠田正作編, 明治 24 年 7 月 12 日印刷, 同年 7 月 15 日出版, 大阪積善館藏版, 発行者石田忠兵衛, 印刷所星野熊吉, 専売所積善館, 同支塵, 袋綴, 例言 2 + 文字引法 1 + 195 丁 (版心に印刷された丁付けは, 99 から 200 となり, 最後は 295 丁となっている).
- (117) 真行草字典丑 [132]: 編者前田圓, 明治 25 年 7 月 30 日印刷同日出版, 発行所 書学会事務所, 袋綴, 15 + 52 + 4p.
- (118) 真行草字典辰 [134]: 編者前田圓, 明治 25 年 11 月 8 日印刷同日出版, 発行所 書学会事務所, 袋綴, 16 + 64p.
- (119) 真行草字典午 [133]: 編者杉邨雄二, 明治 26 年 3 月 3 日印刷同日出版, 発行所書学会事務所, 袋綴, 24 + 64p.
- (120) 四聲附韻冠註補闕類書字義 増續大廣益會玉篇大全 子首卷 [135]: 刊記なし, 袋綴, 24 丁.

- (121) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 丑一二畫 [136]: 刊記なし, 袋綴, 65丁.
- (122) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 寅三畫上 [137]: 刊記なし, 袋綴, 48丁.
- (123) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 卯三畫下 [138]: 刊記なし, 袋綴, 46丁.
- (124) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 辰四畫上 [139]: 刊記なし, 袋綴, 56丁.
- (125) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 巳四畫下 [140]: 刊記なし, 袋綴, 86丁.
- (126) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 午五畫 [141]: 刊記なし, 袋綴, 76丁.
- (127) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 未六畫上 [142]: 刊記なし, 袋綴, 65丁.
- (128) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 申六畫下 [143]: 刊記なし, 袋綴, 57丁.
- (129) 四聲附韻冠註補闕類書字義 增續大廣益會玉篇大全 亥自十畫至十七畫 [144]: 享保20歳乙卯(1735年)初冬吉日, 浪華書肆大野木市兵衛ほか, 袋綴, 61丁.
- (130) 正續文章軌範講解一 [145]: 森立之著, 明治11年7月刻成, 内藤書屋蔵, 袋綴, 題辭2 + 序3 + 緒言2 + 63丁.
- (131) 正續文章軌範講解二 [146]: 刊記なし, 袋綴, 47丁.
- (132) 正續文章軌範講解三 [147]: 刊記なし, 袋綴, 58丁.
- (133) 正續文章軌範講解四 [148]: 刊記なし, 袋綴, 59丁.
- (134) 正續文章軌範講解五 [149]: 刊記なし, 袋綴, 卷五33 + 卷六43丁.
- (135) 正續文章軌範講解六 [150]: 著述人森立之, 明治10年3月2日版權免許, 同11年7月出版, 出版人内藤傳右衛門, 売弘発兌所内藤支店, 袋綴, 卷七55 + 諸国発兌書肆6丁.
- (136) 點註正文文章軌範一二 [151]: 宋壘山謝枋得, 明東郭鄒守益, 撰日本宮脇通赫輯補, 明治(1字判読不能)季丁丑(1877年)新彫, 東京山中氏版, 袋綴, 序2 + 序7 + 目録5 + 卷一27 + 卷二23丁.
- (137) 點註正文文章軌範三四 [152]: 刊記なし, 袋綴, 卷三29 + 卷四28丁.
- (138) 點註正文文章軌範五六七 [153]: 刊記なし, 袋綴, 卷五19 + 卷六19 + 卷七27丁.
- (139) 點註續文章軌範一二 [154]: 刊記なし, 袋綴, 目録5 + 卷一31 + 卷二17丁.
- (140) 點註續文章軌範三四 [155]: 刊記なし, 袋綴, 卷三25 + 卷四31丁.
- (141) 點註續文章軌範五六七 [156]: 補輯人宮脇通赫, 版權免許明治10年丁丑6月19日, 出版人山中市兵衛, 袋綴, 卷五30 + 卷六28 + 卷七20丁.
- (142) 新刻新增改N 記大全完 [157]: 文政13歳庚寅(1830年)初春発兌, 書林昭華堂蔵, 書林植村藤右衛門ほか, 袋綴, 目録4 + 108(第5丁と6丁の間に後1丁から後5丁がはさみこまれている; 第72丁を第130丁と数えなおしているのので最後の丁は161と表示されている) + 付録44丁.
- (143) 静題鴨河四郎集下 [158]: 発行書林須原屋茂兵衛ほか, 袋綴, 67 + 姓名録22 + 出版案内1丁.
- (144) 題詠連璧集 [159]: 尾張岡田蔵板, 袋綴, 序2 + 集一目録4 + 集二目録2 + 集三目録4 + 集四目録2 + 集五目録3 + 集六目録3 + 集一32 + 集二17 + 集三25 + 集四19 + 集五29 + 集六49丁, 書名は内題による.
- (145) 西洋道中膝栗毛二編上 [160]: 假名垣魯文戯著, 東京書肆萬笈閣, 袋綴, 23丁.
- (146) 西洋道中膝栗毛二編下 [161]: 発行書林堺屋仁兵衛ほか, 袋綴, 22丁.
- (147) 西洋道中膝栗毛三編上 [162]: 魯文著, 芳幾畫, 萬笈閣梓, 袋綴, 25丁.
- (148) 西洋道中膝栗毛三編下 [163]: 発行書林堺屋仁兵衛ほか, 袋綴, 21丁.
- (149) 道二翁道話四篇上 [164]: 刊記なし, 袋綴, 序2 + 21丁.
- (150) 道二翁道話六篇中 [165]: 刊記なし, 袋綴, 16丁.
- (151) 野山のにしき上 [166]: 刊記なし, 袋綴, 20丁, 書名は内題による.



(152) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, 卷之一, 畿内山城国之物 [175]: 上田文齋 (維暁) 編輯著作, 明治21年10月3日発行, 出版者青木恒三郎, 洋装袋綴, 序2+116p.

(153) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, by B. Wyeda and T. Aoki, Okasa, Aoki Szandow, 卷之二, 東海道之物 [176]: 上田文齋 (維暁) 著, 青木恒三郎校閲, 明治22年1月27日発行, 出版者青木恒三郎, 嵩山堂梓, 洋装袋綴, 111p. (見返紙に貼付された1枚紙には, 「東海道之物」ではなく「東海道之続」となっている.)

(154) 内地 (ママ) 旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, 卷之三, 一名東京及近傍名所獨案内 [177]: 上田文齋 (維暁) 編輯著作, 明治22年5月9日発行, 出版者兼印刷者青木恒三郎, 洋装袋綴, 題字 (醍醐忠順) 4+126p.

(155) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, by B. Wyeda and T. Aoki, Okasa, Aoki Szandow, 卷之四, 東山道之物 [178]: 上田文齋 (維暁) 著作, 青木恒三郎校閲, 明治22年8月27日発行, 出版者青木恒三郎, 嵩山堂梓, 洋装袋綴, 126p.

(156) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, by B. Wyeda and T. Aoki, Okasa, Aoki Szandow, 卷之五, 一名松嶋名所獨案内, 陸前, 陸中, 陸奥, 北海道, 北陸道之物 [179]: 上田文齋 (維暁) 著作, 青木恒三郎校閲, 明治22年11月29日発行, 出版者兼印刷者青木恒三郎, 嵩山堂梓, 洋装袋綴, 題字 (谷山春窓) 2 +140p.

(157) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, 卷之六, 山陽道 (と山陰道) 之物 [180]: 上田文齋 (維暁) 編輯著作, 明治23年4月12日発行, 出版者兼印刷者青木恒三郎, 洋装袋綴, 142p. (書名には「山陽道之物」と表記されているが, 実際は山陰道も含まれている.)

(158) 内国旅行日本名所図絵, Illustrated guide book for travellers around Japan, by B. Wyeda and T. Aoki, Okasa, Aoki Szandow, 卷之七, 南海道, 西海道之物 [181]: 上田文齋 (維暁) 著作, 青木恒三郎校閲, 明治23年8月21日発行, 出版者兼印刷者青木恒三郎, 嵩山堂梓, 洋装袋綴, (pp.1-2落丁) 156+ 賛 (春窓) 2p. (内表紙が複数あり, その1枚には「山陽道 山陰道之物」となっている.)

(159) 御所桜堀河夜討 [172]; 明治36年2月20日4版, 編者兼発行者西村寅次郎, 133p.

(160) 絵い里懐中義太夫 順礼歌の段 阿波鳴門 八ッ目, 東京日本橋通三金櫻堂版 (十八) [173]: 明治35年9月28日第20版, 編集兼発行者内藤加我, 発兌金櫻堂, 図版1 +27 p.

(161) 絵い里懐中義太夫 政岡忠義段 伽羅先代萩 御殿, 東京日本橋通三金櫻堂版 (五) [260]: 明治35年9月28日第20版, 編集兼発行者内藤加我, 発兌金櫻堂, 図版1 +20 p. (pp.13-14落丁)

(162) 絵い里懐中義太夫 毛谷村能段 彦山権現 九ッ目, 東京日本橋通三金櫻堂版 (二十六) [261]: 明治35年9月28日第15版, 編集兼発行者内藤加我, 発兌金櫻堂, 図版1 +19 p. (pp.3-4, 7-10, 13-14落丁).

(163) 菅江田中先生傳全 [174]: 渡邊善治著, 明治41年10月22日発行, 発行兼印刷者山田政吉, 活版袋綴, 序 (宇佐美喜太郎) 1丁+序 (山崎誠一郎) 1丁+本文28丁.

(164) 愛知県方面委員助成会連合発行の雑誌『方面』合巻製本, 4冊 [183-186]: [183] は第4巻 (1929) 12号, 第5巻 (1930) 2, 4, 8, 9, 10, 11号, 第6巻 (1931) 1, 2, 3, 6, 7, 8, 10号, 第7巻 (1932) 1, 3-12号を含む; [184] は第8巻 (1933) 1-12号と第9巻 (1934) 1-12号を含む; [185] は第10巻 (1935) 1-12号と第11巻 (1936) 1-12号を含む; [186] は第12巻 (1937) 1-12号と第13巻 (1938) 1-11号 (完結) を含む; 本雑誌を発行している「方面委員」とは, 「わが国救貧行政において無視す

ることのできない名誉職委員制—終戦後の今日は民生委員と呼ばれているが—の源流」とされている（小川，1960）。

#### 歴史地理図（単票印刷）

大きさ 17.5 × 24.1cm の紙の片面に印刷された単票の歴史地理図で，補助教材かとも考えられるが，出版元など詳細は不明；表題の前にある丸かっこ内の和数字は，単票の図の欄外左下に印刷されている。

- (165) (一) 延喜以前大内裏図 [187]
- (166) (四) 淳和天皇天長元年国名完全図 [188]
- (167) (五) 朱雀天皇承平天慶公武沿革図 [189]
- (168) (六) 将門横領坂東八州概図 [190]
- (169) (七) 保元平治闘争沿革図 [191]
- (170) (八) 後鳥羽天皇元暦元年公武沿革図 [192]
- (171) (九) 頼朝略定関左諸州図 [193]
- (172) (十) 鎌倉沿革図 [194]
- (173) (十一) 延元二年南北両朝角立図 [195]
- (174) (十二) 千劔破城墟図 [196]
- (175) (十三) 楠氏古跡図 [197]
- (176) (十四) 河内国嶽山城跡図畠山義就抛之 [198]
- (177) (十五) 元中九年南北朝盛衰図 [199]
- (178) (十七) 京師応仁乱図 [200]
- (179) (十八) 後奈天皇弘治二年州国割拠図 [201]
- (180) (十九) 正親町天皇永保十一年足利更替図 [202]
- (181) (二十) 正親町天皇天正五年群雄争衡図 [203]
- (182) (二十一) 信州川中嶋方位図 [204]
- (183) (二十二) 甲斐信濃上野城地方位図 [205]
- (184) (二十三) 小田原北條氏戡定九国図 [206]
- (185) (二十四) 正親町天皇天正十年織田氏全盛図 [207]
- (186) (二十五) 正親町天皇天正十四年豊臣氏西代図 [208]
- (187) (二十六) 大阪城全図 [209]
- (188) (二十七) 薩摩征討沿途概図 [210]
- (189) (二十八) 琉球群島之図 [211]
- (190) (二十九) 付図 朝鮮図 [212]

#### 明治期の新聞

(191) 岐阜日日新聞，55.0 × 40.0cm，38号分 [216-253]，注記がない号はすべての面が揃っている：  
[216] 6572号（1903年8月30日）；[217] 6575号（1903年9月3日）3/4面欠；[218] 6577号（1903年9月5日）3/4面のみ；[219] 6579号（1903年9月8日）3/4面のみ；[220] 6580号（1903年9月9日）3/4面のみ；[221] 6581号（1903年9月10日）；[222] 6582号（1903年9月11日）3/4面欠；  
[223] 6585号（1903年9月15日）3/4面のみ；[224] 6593号（1903年9月24日）3/4面のみ；[225]

- 6594号(1903年9月26日); [226] 6595号(1903年9月27日); [227] 6596号(1903年9月29日); [228] 6598号(1903年10月1日) 3/4面欠; [229] 6600号(1903年10月3日) 3/4面のみ; [230] 6605号(1903年10月9日) 3/4面のみ; [231] 6606号(1903年10月10日); [232] 6608号(1903年10月13日); [233] 6609号(1903年10月14日) 3/4面のみ; [234] 6610号(1903年10月15日) 3/4面欠; [235] 6611号(1903年10月16日) 3/4面のみ; [236] 6612号(1903年10月17日) 3/4面欠; [237] 6613号(1903年10月20日); [238] 6615号(1903年10月22日) 3/4面のみ; [239] 6616号(1903年10月23日) 3/4面のみ; [240] 6617号(1903年10月24日); [241] 6618号(1903年10月25日); [242] 6619号(1903年10月27日) 3/4面のみ; [243] 6620号(1903年10月28日); [244] 6631号(1903年11月11日) 3/4面欠; [245] 6632号(1903年11月12日) 3/4面欠; [246] 6633号(1903年11月13日); [247] 6634号(1903年11月14日); [248] 6635号(1903年11月15日); [249] 6636号(1903年11月17日) 3/4面欠; [250] 6637号(1903年11月18日); [251] 6639号(1903年11月20日) 3/4面欠; [252] 6640号(1903年11月21日) 3/4面欠; [253] 6644号(1903年11月27日) 3/4面のみ.
- (192) 新愛知 2573号(1897年4月9日) [254], 50.0 × 36.0cm.
- (193) 中京新報 2825号(1903年9月30日) [255], 3/4面のみ, 53.0 × 38.0cm.
- (194) 扶桑新聞, 53.0 × 38.0cm, [256] 1903年10月2日 3/4面のみ; [257] 1903年10月8日 3/4面のみ.
- (195) 萬朝報, 54.0 × 40.0cm, 3671号(1903年11月29日) [258], 3/4面欠.
- (196) 穎才新誌, 第44号(1878年1月5日) ~ 第95号(同年12月28日) の合巻1冊 [168].

#### 写真帖など史料

- (197) 写真帖 [169], 27.3 × 34.7cm, 厚さ約4.5cm, 表紙は厚紙で, 表の表紙には真鍮製の陸軍徽章がはめ込まれ, その表紙裏に「明治43年」との鉛筆による書き込みがある.
- (198) 授業料納付票 種村定吉2枚 [167], 上記(108)と(111)の注記参照.
- (199) 明治八年改正地券 [213], 明治21年3月31日付けで岐阜県発行.
- (200) 有限責任和合信用組合に関する絵葉書, 14.0 × 9.0cm, 2枚: [214] は「金拾円の出資券」をカットに使用; [215] は集合写真が印刷されており, 写真に「→鈴平」, 裏面に同「明治三十二年創立」との, いずれも本荘平八氏によると思われる鉛筆書きがある.
- (201) 全国金満家一覧表 [259]: 1912年9月1日発行原本の, 角館町青柳家(民俗資料館)による限定復刻版.

#### 謝 辞

本資料をご寄贈下さった本荘平八氏, 寄贈のお世話をいただいた名古屋大学博物館友の会会員川本宏子氏, そして, 医療器具の名称についてご指導いただいた榊原欣作・高橋昭の両名古屋大学名誉教授に心から感謝する.

#### 文 献

- 青木允夫・古田恵子・森部裕子・稲垣裕美(編)(1990)目で見るとくすりの博物誌, 内藤記念くすり博物館, 岐阜県羽島郡川島町, 95p.
- 神谷敏郎(1997)幕末から明治初期における医学教育. In: “学問のアルケオロジー”, 東京大学, 東京, 124-138.
- 日本医科器械資料保存協会(1985)財団法人日本医科器械資料保存協会医科器械資料録, 日本医科器械資料保存協会, 東京, 130p.

- 西川輝昭（2003）第2回名古屋大学博物館企画展記録 フーフェラントと幕末の蘭方医—毛利孝—コレクションから．名古屋大学博物館報告，**19**, 149-167.
- 小川政亮（1960）第4編大正デモクラシー期の救貧体制．In：“日本の救貧制度”（日本社会事業大学救貧制度研究会編），勁草書房，東京，153-222.
- 東京医科器械同業組合（編）（1963）M.I.C.医科器械綜合標準カタログ改訂版，3+675+2p.，東京医科器械同業組合，東京.
- 安井 広（1976）田中正鐸．In：“愛知百科事典”（中日新聞社開発局編），中日新聞本社，名古屋，p.480.

(2005年11月15日受付)